

今日の1冊

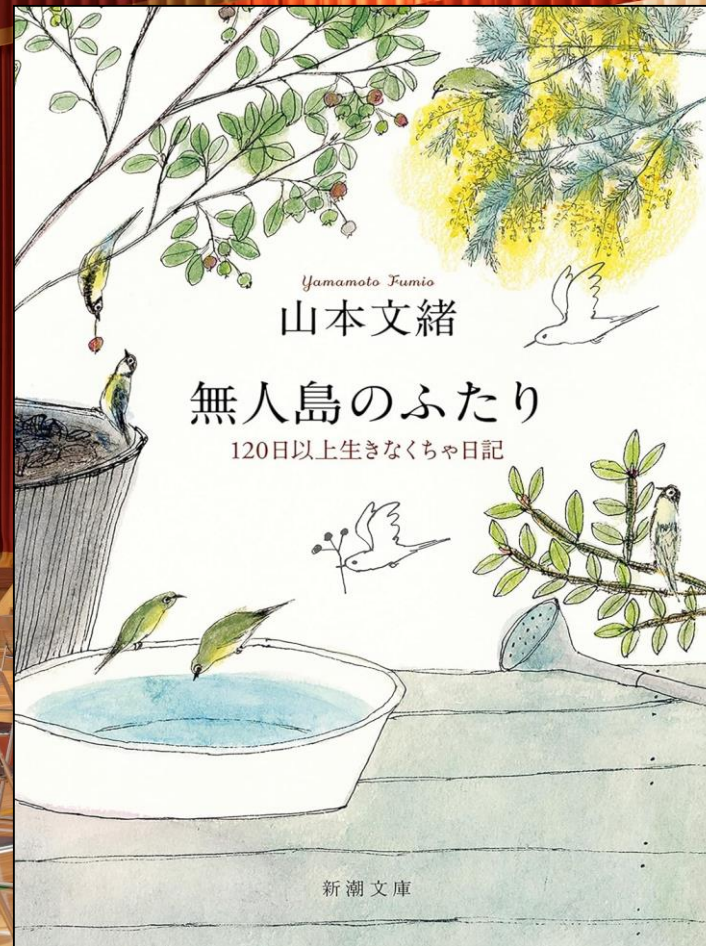
【内容】

ある日突然がんと診断され、夫とふたり、無人島に流されてしまったかのような日々が始まった。五十八歳で余命宣告を受け、それでも最期まで書くことを手放さなかった作家の闘病記。

無人島のふたり

120日以上生きなくちゃ日記

山本文緒 著



【著者紹介】

山本文緒（やまもと・ふみお）
一九六二〜二〇二一年。作家。「恋愛中毒」で吉川英治文学新人賞、「プラナリア」で直木賞、「自転しながら公転する」で島清恋愛文学賞、中央公論文芸賞を受賞。